

小学校理科教育 実技・理論研修会 終了報告

テーマ	授業づくりの ヒント研修会		
日 時	令和7年2月28日(金)		
会 場	江別市立第一小学校 理科室		
指導者	渡邊 和宏 氏 (石狩市立南線小学校 教諭)	成田 一之慎 氏 (江別市立江別第一小学校 主幹教諭)	
	佐藤 香織 氏 (恵庭市立柏小学校 教諭)	元沢 貴子 氏 (北広島市立大曲東小学校 教諭)	
参加者	39名		
研修会 の 様 子		6年生「水溶液」の単元を主に扱った。 安全面において配慮すべき点が多い単元である反面、予備実験を入念に行わないと、想定外のことが起こりやすく、あわてて高濃度の水溶液を用意することに起因する事故等が、全国で毎年のように起きてしまっている。	
		そこで、単元全体を通して、陥りやすいことを整理し、それぞれ予備実験のポイントやノウハウについて実験を行いながら研修した。	
		予備実験のポイントとしては、「塩酸にアルミニウムを入れるときは、温めておくと反応が早い」「その液を蒸発させる実験では、出てきた塩化アルミニウムを次回も実験で使おうとすると、大量の塩酸が必要になり危険なので、別で用意するとよい」等が挙げられる。	
		最後は、紹介に留まったが、5年「流れる水のはたらき」の、川の水による浸食・運搬・堆積のモデル実験の方法や材料についても扱った。	